

## 行財政改革第3次チャレンジプラン案 パブリックコメント実施結果報告について

### 1 実施期間

平成24年10月19日（金）～11月19日（月）

### 2 意見提出の結果

個人－1、団体（市職員）－11 計12件

### 3 提出種別

郵送	
ファクス	
電子申請	11
持参	1

### 4 意見の内訳

項目	意見数		
全体	3		
第1 策定にあたって	1 策定の背景		
	2 策定の目的	2	
	3 推進期間		
	4 進行管理		
第2 須坂市の基本課題	1 人材育成と市民サービスマインド(意識・精神)の向上が必要	1	
	2 財政状況悪化の懸念	1	
	3 公共施設維持管理の増大		
第3 行財政改革の目標とその達成に向けて取り組むこと	1 行財政改革の目標	1	
	2 基本理念：行財政改革の基本となる考え方	1	
	3 取組みの柱	① 市民のみなさんとの共創の推進	1
		② 人財育成	2
		③ 市民サービスマインド(意識・精神)の向上	
④ 財政の健全化			
第4 推進の体制			

### 5 意見に対する対応案

① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。	8
② ご意見等につきましては、計画原案に反映されていると考えています。	
③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。	4

## 意見に対する対応一覧

No	ページ	提出者	意見対象項目	意見	意見に対する考え、ポイント	対応
1	0	4	チャレンジプラン策定にあたって実施したアンケート結果の反映	意識調査などはどの部分が反映されているか、見える化可能でしょうか。 対応アンケートはP5にあります。	11ページ以降の「新」は意識調査などのご意見を反映して第3次チャレンジプランから新たに追加した項目です。 第3次チャレンジプラン策定にあたり、市民総合意識調査をはじめ、職員座談会、職員意識調査などを行い、第2次チャレンジプランをはじめこれまでの行財政改革の計画を踏まえてご意見を加味しました。 個別具体的なご意見がどのように反映したかは別途一覧をホームページで公表します。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
2	0	4	語句の説明	一般人が見た場合、一部言葉の意味不明な内容があります。 (説明が必要な) P12「いいね!カード」の活用、5Sパトロールなど	専門的な用語や一般的ではない取組み名などについては、注釈を付けます。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
3	0	6	語句の表現	「5Sチェックリスト、5Sパトロールの実施による職場の徹底」の「職場の徹底」について、わかりやすい表現が必要だと思います。	「職場の徹底」とは「職場内の5S運動の徹底」を表現したために用いた言葉でした。 「チェックリストやパトロールなどを活用し、職場内の5S運動の徹底」に修正します。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
4	3	6	語句の表現	「時代に呼応」についてわかりやすい表現が必要だと思います。	「時代に呼応した市民ニーズ」とは「時代の変化にともなって多様化する市民ニーズ」を表現したために用いた言葉でした。 「多様化する市民ニーズを…」に修正します。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
5	3	4	チャレンジプランについての説明	チャレンジプラン自体の説明がありません。 (「チャレンジプランとは」的な説明) 目的はありますが	3ページに以下のチャレンジプラン自体についての説明を入れます。 行財政改革第3次チャレンジプランは、平成25年度から27年度までの須坂市の行政や財政改革の指針、改革項目、目標、期限などを明確にするものです。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。

No	ページ	提出者	意見対象項目	意見	意見に対する考え、ポイント	対応
6	5	3	人財育成と市民サービスマインド（意識・精神）の向上が必要	「市役所庁舎にお見えになった」という言い方は適切か	「市役所に来庁された」という表現に訂正します	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
7	6	6	グラフの表現	6～8ページのグラフの年号について、わかりやすい表現が必要だと思えます。	6ページ将来人口の推移推計の年号を「年度」に修正し、年号を「年度」に統一します。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
8	8	4	行財政改革の目標	項目別の数値目標は設けないのでしょうか。 (実施計画内で考えているかもしれませんが)	財政効果額として全体の効果額を設けていますが、効果額として算定できる「4 財政の健全化」の「支出の削減」「収入の確保」については数値目標を設けて進行管理します。 その他の項目につきましては、数値化可能な項目について数値目標を設けて進行管理します。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。

No	ページ	提出者	意見対象項目	意見	意見に対する考え、ポイント	対応
9	10	1	市民と共に歩む信頼され活気ある組織・体制づくり	第五次須坂市総合計画の施策46 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり理想とするのは 職員一人ひとりが、市民のみなさんや各種団体などと役割分担しながら、働く意欲と使命感をもって、市民のみなさんと共に課題解決に取り組んでいるまち。近隣の市町村や関係団体と連携し、それぞれが得意とする分野や特有の資源をいかしあうまち。とありますが、市民と共に歩もうとするならばもう少し市役所の仕事などをわかりやすくして、市民に市政に関心を持ってもらう必要があるのではないか。	14ページ 取組みの柱 「3市民サービスマインド（意識・精神）の向上」の項目「行政運営の透明性の確保」の実施内容「市民のみなさんへわかりやすい情報発信の強化」に、「市政についてわかりやすい情報発信」を追加します。 また、この実施内容について「実施計画」の中で、 ・市民のみなさんにわかりやすく伝わる広報手段の確立 ・市政情報の整理 など を設けて取組みたいと考えています。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
10	11	2	共創によるまちづくりの推進 【実施内容】 「共創のまちづくりパートナー制度」の活用推進	「共創のまちづくりパートナー」の登録者は現在26名であり、市、実行委員会主催の行事（イベント）のお手伝いが主な活動内容であるのが現状。 生涯学習のボランティア（中央公民館所管）、福祉ボランティア、災害ボランティア（社協所管）とあり、それぞれ地域活動に携わっておられる。 また、地域の見守り隊や除雪ボランティアなど「自分たちの地域は自分たちで守る」との意気込みで活動している人もある。 どんなボランティアをしたいかは、それぞれ考えがあり、「共創のまちづくりパートナー制度」だけを具体的な実施内容とすると他の団体でもっと活躍し、共創を進めている人もいる中で、全体像が見えないのではないか。	この項目は第五次須坂市総合計画前期基本計画の施策40の中の「共創のまちづくりパートナー制度の周知」について、実施内容として第3次チャレンジプランに計上したものです。 ボランティアに対するニーズと労力提供の現状を踏まえた上で、施策に沿って制度の周知を図るとともに、制度の活用推進をしていきたいと考えています。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
11	11	4	市民の財政参加	「市民の財政参加」ですが、どちらかというと、ふるさと【応援】寄附金は、『市外』の方が、須坂を応援する仕組みです。	「市民のみなさんなどの行政への参加促進」と訂正し、市内に限らず市外の様々な方や団体、企業が市政へ参加していただくことをさらにすすめていきます。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
12	12	5	目標の設定と達成力向上	実施内容の「職員が目指すべき方向性を統一するために組織目標や課題を共有」の具体的な取り組みの中に、「課等の課題」システムの充実・活用を加えてはどうでしょうか。 既に「課等の課題」は、業務の進行管理の点で重要な位置を占めていますが、将来、①総合計画の実施計画②事務事業評価③チャレンジプラン実施計画④財務会計システムなど、他の取り組みやシステムとの連携が考えられます。 また、進行管理のシステムについては、できるだけ整理統合する方向が良いと思います。	この「第3次チャレンジプラン」の方針をもとに別途策定します「実施計画」で「課等の課題システムの充実・活用」を具体的な取組みとして入れてまいります。 また、他の取り組みやシステムとの連携として、「財務会計システムの整理統合」につきましても実施計画に入れてまいります。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。